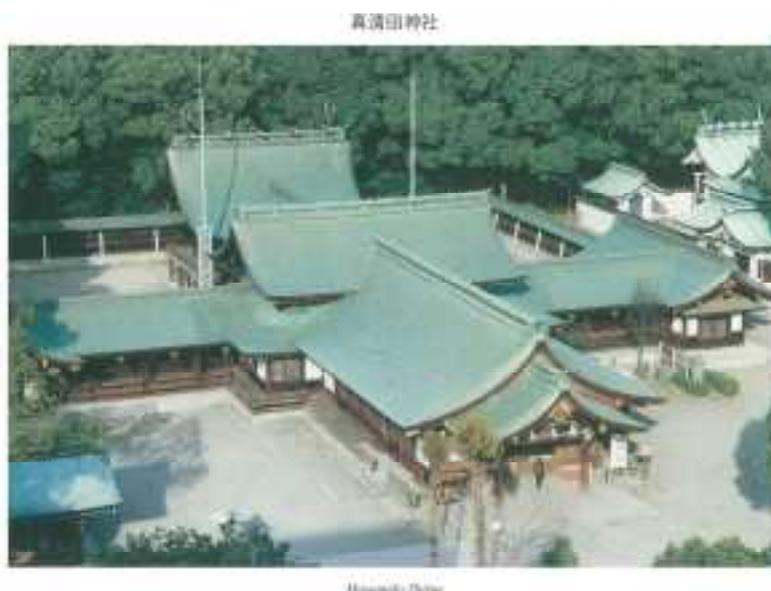


中小企業景況調査報告書

2021年度第3・四半期（10～12月）



目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（99社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 99事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（99）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	35
卸売業	10
小売業	15
サービス業	27
合 計	99

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | | |
|---|---------|
| 〔 | 1位3ポイント |
| | 2位2ポイント |
| | 3位1ポイント |
- 〕

今 期 の 概 況

緩やかな回復基調にあるが、 円安・原材料高など先行きは不透明

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、業況、売上、資金繰りのDI値で前期実績を上回り、採算、従業員のDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI値で今期実績を上回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲17.0から▲13.1(3.9ポイント増)となり、来期は▲7.1(6.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績▲14.0から▲7.1(6.9ポイント増)となり、来期は10.1(17.2ポイント増)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲18.0から▲24.2(6.2ポイント減)となり、来期は▲21.2(3.0ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲17.0から▲13.1(3.9ポイント増)となり、来期は▲8.1(5.0ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲9.0から▲10.1(1.1ポイント減)となり、来期は▲6.1(4.0ポイント増)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を上回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲18.0から▲3.0(15.0ポイント増)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲10.0から2.0(12.0ポイント増)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲15.0から▲8.1(6.9ポイント増)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(36件、26事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

- ① 今期の実績(表3参照)は47件(29事業所)。その主な内訳は、『生産設備』9件、『OA機器』8件、『工場建物』7件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は41件(27事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』9件、『工場建物』『OA機器』各8件、『車両・運搬具』6件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『ニーズの変化への対応』、『需要の停滞』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈紳士服地製造〉）

緊急事態宣言が解除されても、衣料業界の販売額はコロナ禍前の状態に戻っていない。小売業者やアパレルメーカーには在庫が多く存在しており、生地製造業者への受注が少ない状況。
以前のような消費が戻らない限り、当分回復は難しい。

B社（繊維製造業〈織物製造〉）

業界の動向は、水準が相当落ち込んだ状態から即V字回復とは考え辛い中、この場に及んで世界的な原料高は痛手である。国内でその分売値に転嫁することは不可能に近く、今のような状況下で立場の弱くなったメーカーとしては負担が大きい。

C社（製造業〈工業用ヒーター製造〉）

自動車会社の減産の影響を受け、仕事量が減少している他、自動車部品以外でも半導体不足、原材料の高騰により電気機器の生産に大幅な遅れが生じている。今後少しずつ回復してくる見込みであるが現段階では限定的である。

D社（建設業〈電気工事〉）

電気工事に必要な電線、電線管、照明器具などが不足し、今までにない高値となっている。この先もこれらの部品が更に値上がりされると取引先から連絡受けている。見積金額を上げざるを得ないため、受注状況がこの先どうなるか心配である。

E社（小売業〈家具小売〉）

家具業界は幸い新型コロナウイルスの影響は受けていない。反対に緊急事態宣言が解除されると旅行や飲食に消費が流れ若干売り上げが下がる傾向がある。現在、一番の問題は原材料高、円安で、製品の値上げラッシュが続いている。特に輸入家具は円安で価格上昇が大きい。

F社（サービス業〈理容業〉）

新型コロナウイルスの影響で来店周期が延びたり、時間のかかる高単価メニューを控える傾向があるように感じる。年末に向けて、DMやSNSでお客様に来店を促すような発信をしていきたい。

G社（サービス業〈洗濯業〉）

緊急事態宣言解除後も病院関係の洗濯はあまり変化がないが、ホテルなど宿泊施設の洗濯は増えてきている。しかし、原油高の影響で、配送、ボイラ等の燃料代が非常に高くコストを上げているが、簡単に単価値上げが出来ず困っている。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R2. 10～12月	R3. 1～3月	R3. 4～6月	R3. 7～9月	今 期 R3. 10～12月	来期の見通し R4. 1～3月
業 況	▲63.9	▲60.0	▲21.0	▲17.0	▲13.1	▲ 7.1
売 上	▲71.1	▲66.3	▲16.0	▲14.0	▲ 7.1	10.1
採 算	▲59.8	▲58.9	▲25.0	▲18.0	▲24.2	▲21.2
資金繰り	▲23.7	▲18.9	▲ 9.0	▲17.0	▲13.1	▲ 8.1
従 業 員	▲ 9.3	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 9.0	▲10.1	▲ 6.1

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	35	10	15	27	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (2)	8 (6)	1 (2)	1 (2)	7 (6)	19 (18)	▲ 13.1 (▲7.1)
	不変	7 (8)	16 (22)	6 (6)	10 (9)	9 (11)	48 (56)	
	悪化	3 (2)	11 (7)	3 (2)	4 (4)	11 (10)	32 (25)	
売上	増加	3 (5)	10 (9)	3 (5)	6 (5)	8 (10)	30 (34)	▲ 7.1 (10.1)
	不変	4 (3)	15 (19)	3 (3)	4 (5)	6 (11)	32 (41)	
	減少	5 (4)	10 (7)	4 (2)	5 (5)	13 (6)	37 (24)	
採算	好転	0 (1)	6 (2)	1 (2)	2 (2)	5 (5)	14 (12)	▲ 24.2 (▲21.2)
	不変	8 (6)	15 (23)	6 (5)	8 (9)	10 (11)	47 (54)	
	悪化	4 (5)	14 (10)	3 (3)	5 (4)	12 (11)	38 (33)	
資金繰り	好転	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	5 (4)	▲ 13.1 (▲8.1)
	不変	10 (11)	28 (32)	8 (9)	10 (11)	20 (20)	76 (83)	
	悪化	1 (0)	6 (3)	2 (1)	4 (3)	5 (5)	18 (12)	
従業員	増加	1 (0)	3 (3)	2 (0)	1 (2)	4 (3)	11 (8)	▲ 10.1 (▲6.1)
	不変	9 (11)	24 (28)	8 (10)	11 (12)	15 (16)	67 (77)	
	減少	2 (1)	8 (4)	0 (0)	3 (1)	8 (8)	21 (14)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	29	来期	計画している ※2	27
	(事業所数)	実施していない	70	(事業所数)	計画していない	72

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	4 件	5 件	5. 付帯施設	3 件	1 件
2. 工場建物	7 件	8 件	6. O A 機器	8 件	8 件
3. 生産設備	9 件	9 件	7. 福利厚生施設	4 件	0 件
4. 車両・運搬具	6 件	6 件	8. その他	6 件	4 件
			合計	47 件	41 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R2.10～12月	R3.1～3月	R3.4～6月	R3.7～9月	今 期 R3.10～12月
業 況	▲38.1	▲45.3	▲ 9.0	▲18.0	▲ 3.0
売 上	▲34.0	▲53.7	3.0	▲10.0	2.0
資金繰り	▲12.4	▲21.1	▲ 9.0	▲15.0	▲ 8.1

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	35	10	15	27	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	3	6	2	2	8	21	▲ 3.0
	不 変	6	22	5	11	10	54	
	悪 化	3	7	3	2	9	24	
売 上	増 加	4	11	3	6	9	33	2.0
	不 変	3	15	3	6	8	35	
	減 少	5	9	4	3	10	31	
資 金 繰 り	好 転	0	1	0	0	4	5	▲ 8.1
	不 変	11	31	9	12	18	81	
	悪 化	1	3	1	3	5	13	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種	順位	内 容		
		1 位	2 位	3 位
建設業		○材料価格の上昇	○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難
製造業		○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○製品ニーズの 変化への対応
卸売業		○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下・ 上昇難
小売業		○販売単価の低下・ 上昇難	○消費者ニーズの 変化への対応	○仕入単価の上昇
サービス業		○利用者ニーズの 変化への対応	○人件費の増加	○従業員の確保難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
材料価格の上昇	17
材料の入手難	4
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	11
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	1
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	6
民間需要の停滞	12
その他	0
合 計	71

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	31
生産設備の不足・老朽化	9
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	56
原材料の不足	2
人件費の増加	17
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	20
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	17
熟練技術者の確保難	5
需要の停滞	39
その他	0
合 計	205

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	3
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	7
仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	17
その他 (コロナ禍における需要の停滞)	3
合 計	50

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	5
同業者の進出	6
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	12
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	7
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	16
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	2
需要の停滞	2
その他 (ネット販売)	3
合 計	72

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	12
利用者ニーズの変化への対応	31
店舗施設の狭隘・老朽化	10
人件費の増加	22
人件費以外の経費の増加	7
利用料金の低下・上昇難	10
材料等仕入単価の上昇	9
金利負担の増加	2
事業資金の借入難	5
従業員の確保難	18
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	12
その他 (若手の雇用・客層の多様化により宣伝広告も多様化。あれこれ業務が分散されて、時間がとられる。)	2
合 計	144

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

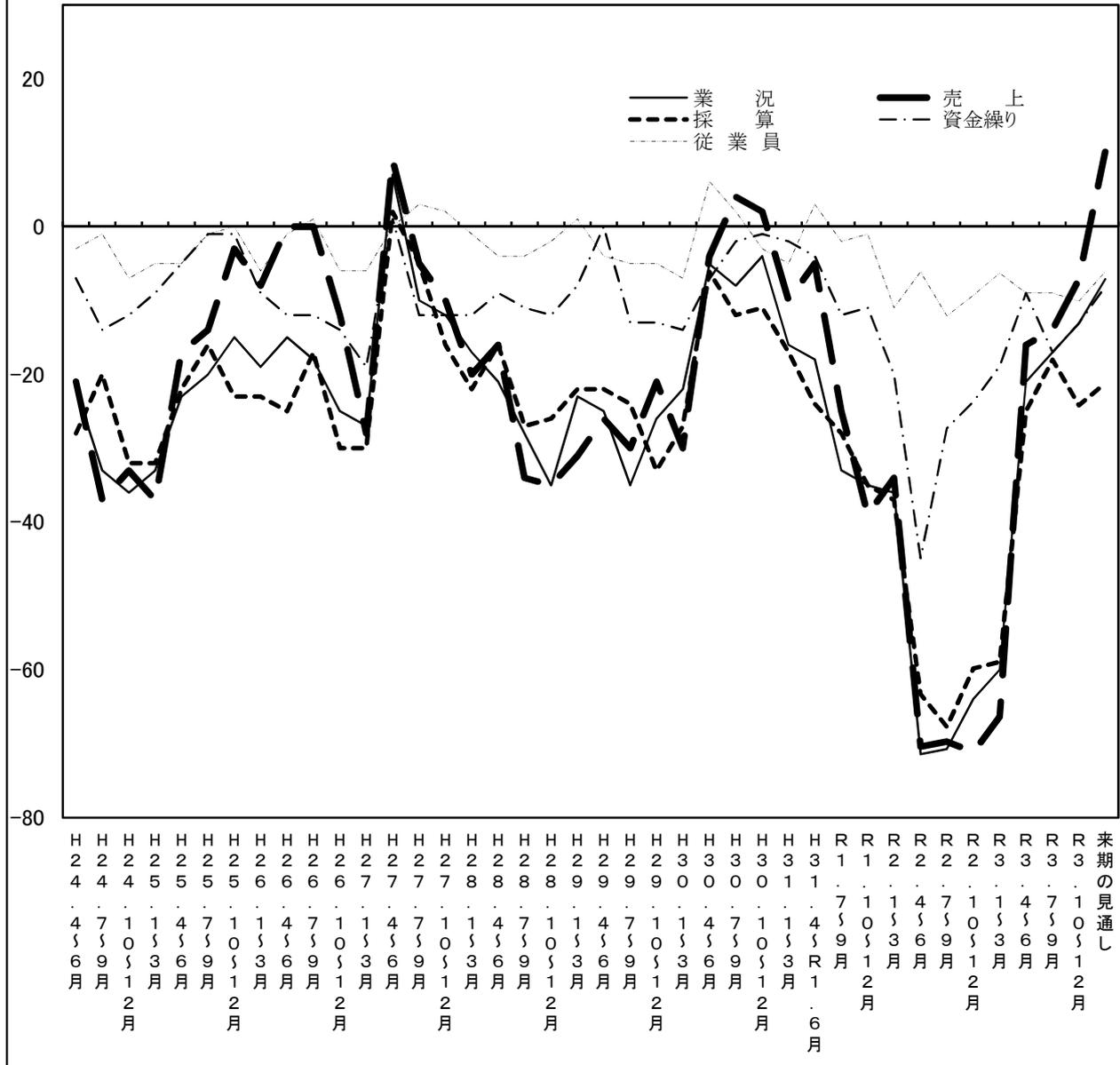


図 2

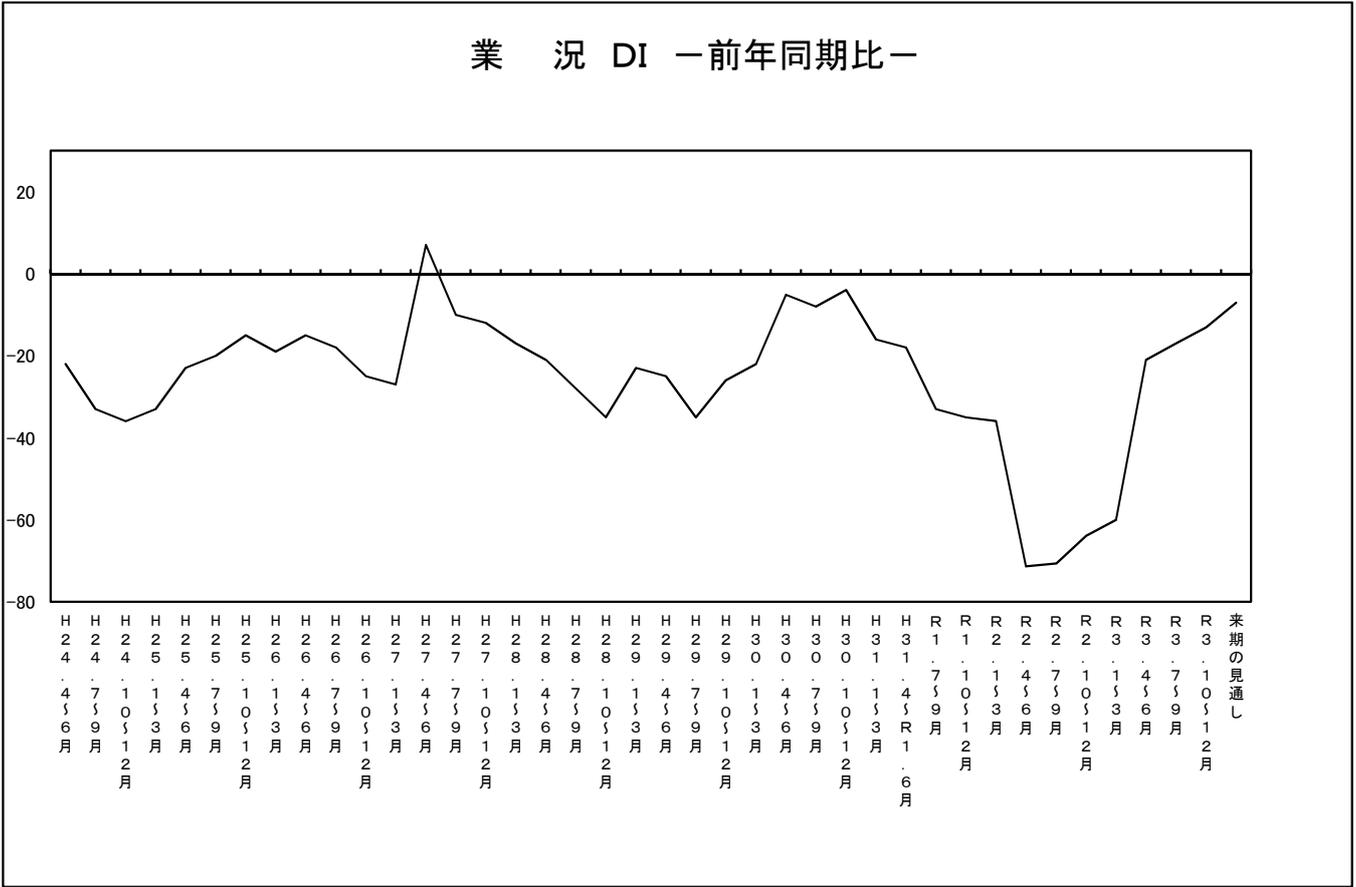


図 3

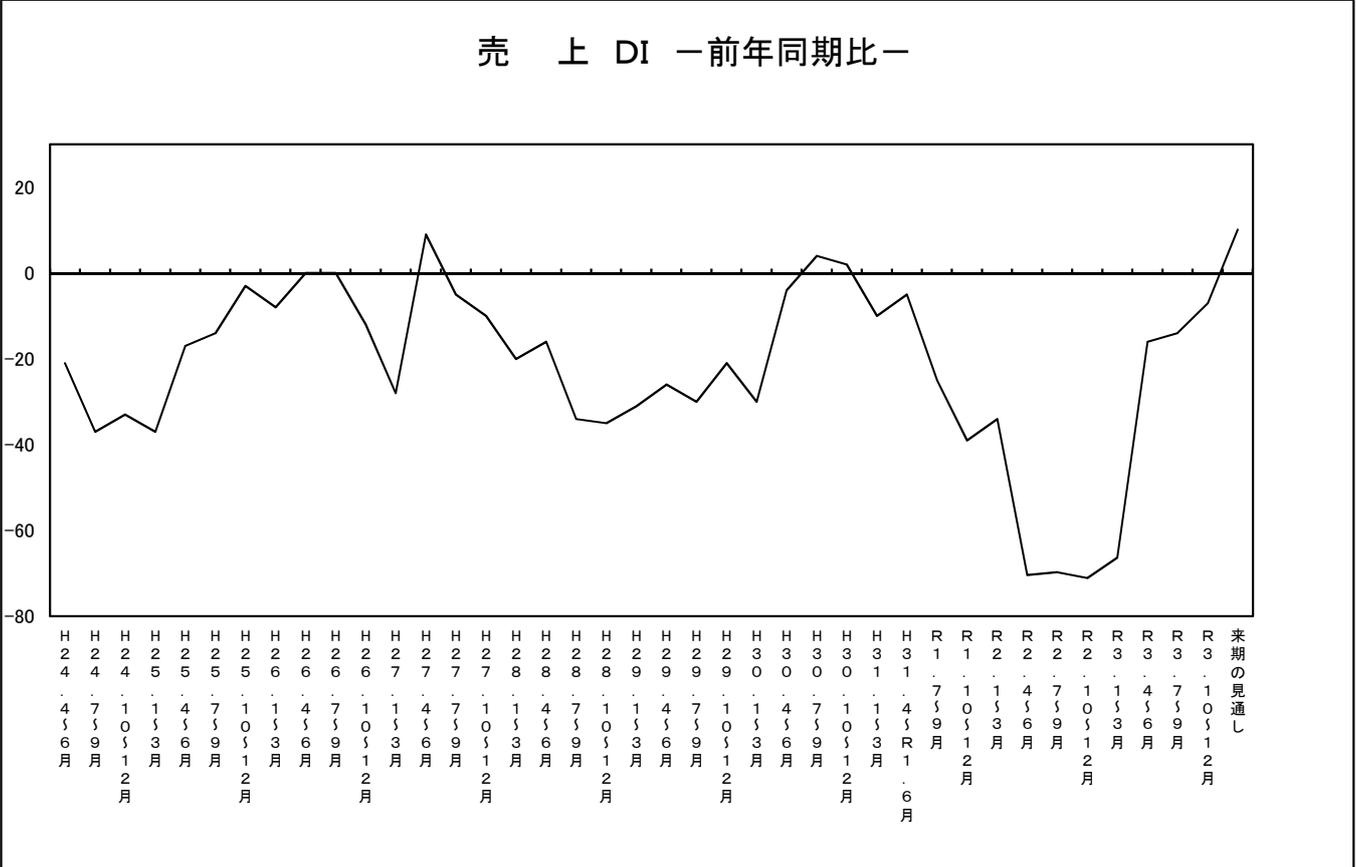


図 4

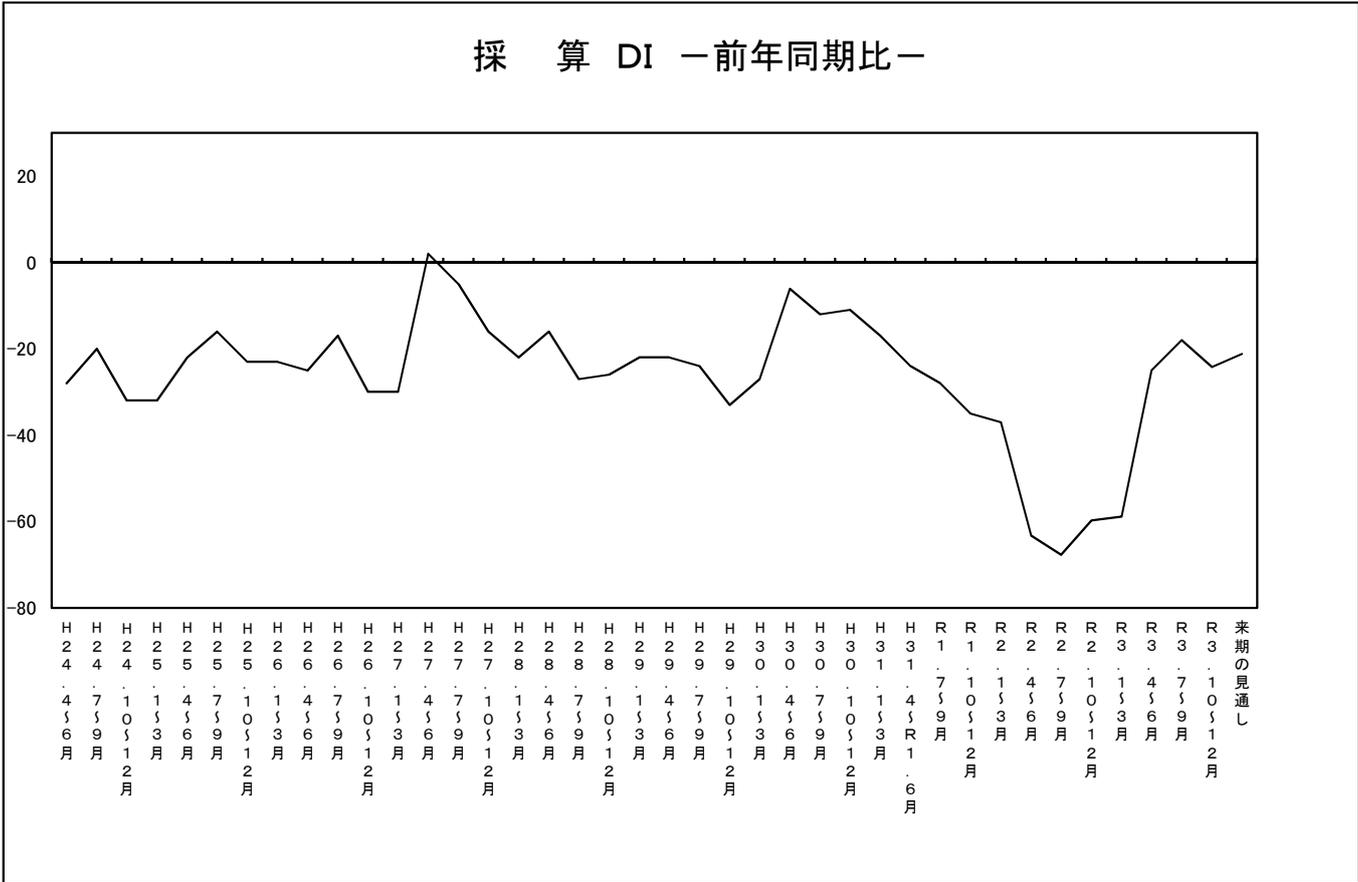
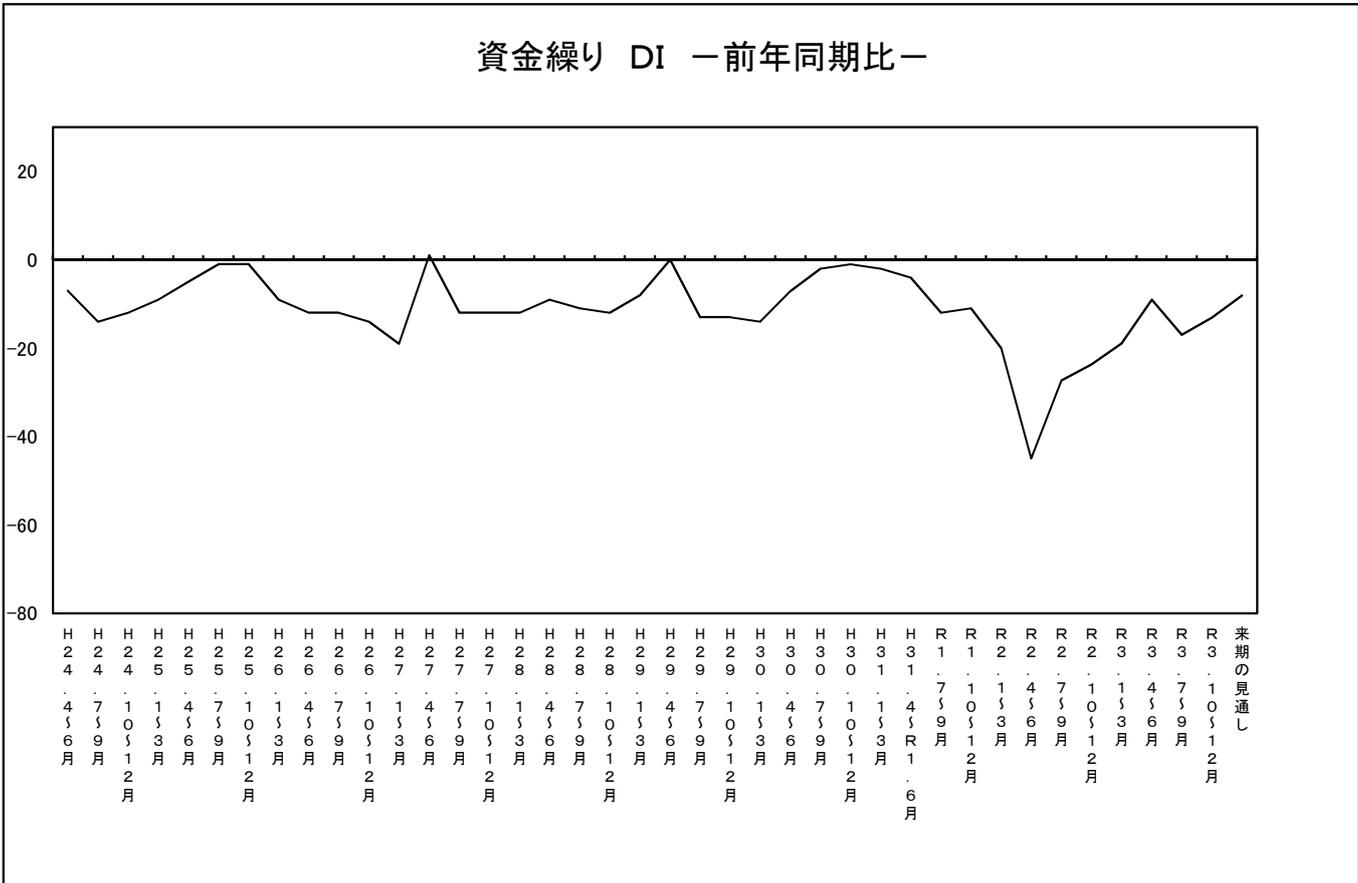
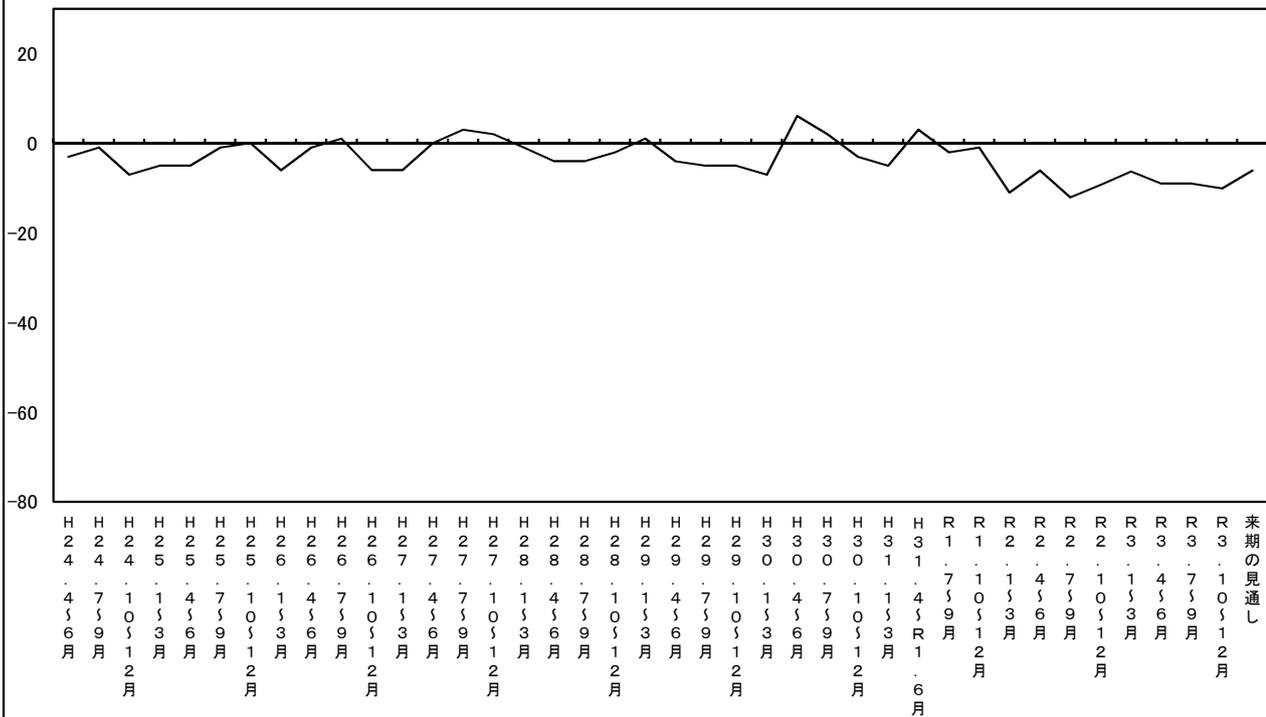


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp